

第五商業高校 令和5年度 財務会計Ⅰ 年間授業計画
教科: (商業) 科目: (財務会計Ⅰ(選択A)) 対象: (第2学年A組・B組)
科目の目標
【知識・技術】財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
1 学 期	銀行勘定調整表・有価証券、満期保有目的債券	銀行勘定調整表の記入方法を理解する。 有価証券の購入、売却に関わる取引を正確・明瞭に記帳する能力を養う。	【知識・技術】 財務諸表の貸借対照表項目について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	5
	商品の評価・有形固定資産	期末における商品の評価(商品評価損・棚卸減耗損)に関わる処理を正確・明瞭に記帳する能力を養う。 有形固定資産の購入、売却、買い換え、売却に関する取引を正確・明瞭に記帳する能力を養う。					5
	無形固定資産、繰延資産	無形固定資産と繰延資産に関する理解を深め、取引を正確・明瞭に記帳する能力を養う。					2
	リース取引	借手手の会計処理を中心に学習する。					3
	引当金	引当金に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					2
	保証債務	保証債務に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
	手形	手形の裏書、割引、不渡り、更新に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					3
	中間考査						1
	外貨換算会計	外貨建取引の換算、決算時の換算替えおよび為替予約について学ぶ。					2
	未決算	災害発生時の保険金請求に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
	消費税、法人税	国税と地方税の違いについて簡単に理解させる。 中間申告については仮払法人税等勘定、確定申告については法人税等勘定で処理する					2
	伝票会計	伝票の利用による記帳の合理化の意義を理解させる。 3伝票の起票・集計・転記を習得させる。 3伝票によって取引を明確・明瞭に処理する能力を養う。					1
	特殊商品売買	割賦販売、未着商品売買、委託販売、試用販売といった特殊な商品売買に関する取引について、それぞれの内容を理解させ、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
	資本金、資本準備金	株式会社の純資産について理解させ、設立時・新株の発行時の記帳処理に習熟させる。 創立費・開業費・株式交付費の意味とその処理を理解させる。					3
	事業譲受、合併	企業の買収や合併について理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					4
	期末考査						1
	課税所得の算定と税効果会計	法人税法上の利益である課税所得の算定方法と税効果会計を学習する。					3
2 学 期	剰余金	株式会社と個人商店とでは当期純損益の決算振替が異なることを理解させる。 配当金は社外流出項目であるため、会社法では制限を設けていることを理解させる。	【知識・技術】 株主資本等変動計算書と純資産、連結会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	2
	社債	社債の発行による資金調達について理解させる。 社債の発行にかかわる費用については社債発行費勘定で処理することを理解させる。 社債の償還に関する取引を正確・明瞭に記帳する能力を養う。					3
	研究開発費	引当金に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
	精算表	精算表を正確・明瞭に作成する能力を養う。					6
	財務諸表	損益計算書と貸借対照表を正確・明瞭に作成する能力を養う。					6
	株主資本等変動計算書	株主資本等変動計算書を正確・明瞭に作成する能力を養う。					6
	本支店会計	本支店の財務諸表を合併する必要性を理解させる。 未達取引の整理方法を習得させる。 本支店合併財務諸表を作成する能力を養う。					4
	総復習	検定試験対策に入る前に、これまで学習した内容を総復習し、学習内容理解の定着を図る。					3
	中間考査						1
	連結会計	連結財務諸表の概略、特に、作成方法および支配獲得日の連結について学習する。					10
	検定対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心に問題演習を行い、実践力をつける。					5
	全商簿記検定	日商簿記検定との違いについて把握しておく					2
	期末考査						1
	検定対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心に問題演習を行い、実践力をつける。					15
3 学 期	まとめ	1年間学習したことを振り返る。	○	○	○		2

合計 107